

評価シート 様式

取組名	外国人ドライブ観光の総合支援プロジェクト		
実施団体名	有限責任中間法人 シーニックバイウェイ支援センター	対象地域	稚内市、豊富町、猿払村、利尻町、利尻富士町、礼文町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、函館市、北斗市
(代表団体名)		推薦団体名	稚内市、豊富町、猿払村、利尻町、利尻富士町、礼文町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか <input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。 (備考・特記事項)	
	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。 (備考・特記事項)		④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	外国人ドライブ観光の総合支援プロジェクト		
実施団体名	有限責任中間法人 シーニックバイウェイ支援センター	対象地域	稚内市、豊富町、猿払村、利尻町、利尻富士町、礼文町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、函館市、北斗市
(代表団体名)		推薦団体名	稚内市、豊富町、猿払村、利尻町、利尻富士町、礼文町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	複合性:観光において、日本の文化・暮らしの体験メニュー(茶道・着付等)に対する外国人ニーズが高いことが確認できたこと等の地域資源の掘起しや、多言語対応可能なコールセンターの設置等の受入体制構築のための人材育成や雇用促進に向けた取組を着実に実施。 先導性・モデル性:広大な北海道内にある都市・農村・自然をドライブによって周遊・観光するシステム構築という、北海道の特性を活かすという点で先導性・モデル性があると思われる。 相乗効果・波及効果:本事業の対象2地域をモデルとして汎用性のある観光メニューや受入体制、それらに対する課題がある程度整理できた思われ、これに地域独自のメニューを加えることで北海道全域でのドライブ観光の体制へと繋がる取組と期待。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	外国人を対象にすることによる新たな地域資源の発掘や、必要となる地域の受入体制を構築することにより広大な北海道内の都市・農村・自然が一体で地域活性化に寄与する取組であると評価できる。今後は他地域での地域資源発掘、多様な外国人ニーズ対応や緊急時対応等の受入体制を更に強化するなど取組の深化を自立的に進めつつ、今年度の成果をモデルとして活用することにより地方の元気再生事業として支援を行わなくても全道展開へ繋がるなどの本格展開が期待できるものである。